

## 日本陸連アスレティック・アワード2012 受賞者一覧

### 1. アスリート・オブ・ザ・イヤー 「2012年においてその活躍が最も顕著であった競技者」

室伏 広治(ミズノ)

第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン) 男子ハンマー投 3位。  
日本選手権では18連覇を達成した。

### 2. 優秀選手賞 「2012年において優秀な成績をおさめた競技者」

①中本健太郎(安川電機)

第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン) 男子マラソン 6位。

②男子4×100mR

山縣亮太(慶應義塾大学)

江里口匡史(大阪ガス)

高平慎士(富士通)

飯塚翔太(中央大学)

第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン) 男子4×100mR 5位。

予選で日本歴代2位の38秒07を記録した。

### 3. 新人賞(記者クラブ2名、本連盟1名) 「2012年の活躍が顕著であり、その将来が期待される競技者」

①東京運動記者クラブ 2名

(男子)

山縣 亮太(慶應義塾大学) / 1992年6月10日生

第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン)において、日本男子歴代最速の10秒07をマーク。

(女子)

土井 杏南(埼玉栄高校) / 1995年8月24日生

第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン)に戦後最年少で出場した。女子4×100mR  
6月の日本選手権でも女子100m 2位。

②本連盟選出の競技者 1名

ディーン 元気(早稲田大学) / 1991年12月30日生

第30回オリンピック競技大会(2012/ロンドン) 男子やり投 10位。

第46回織田幹雄記念国際大会で日本歴代2位の84m28を記録。

6月の日本選手権初優勝。

### 4. 特別賞 「陸上競技を通じた活動や活躍が広く社会に対して貢献したと認められた者もしくは団体」

村田機械株式会社

1983年1月より開催の全国都道府県対抗女子駅伝競走大会において、1989年の第7回大会より25年以上の長きに亘り  
ナンバーカードスポンサーとして、女子中・長距離選手の強化育成と競技の普及に貢献した。

本大会より、ロンドンオリンピック代表選手である木崎良子選手、重友梨佐選手、尾崎好美選手、新谷仁美選手、  
吉川美香選手、福土加代子選手を始めとする数多くのトップアスリートを輩出した。